

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	摂食シグナル胆汁酸の分子栄養学的機能解析と食品成分による摂食応答制御
研究代表者	佐藤 隆一郎（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、コレステロールの異化・排泄のための代謝産物である胆汁酸を摂食シグナル分子として捉えることに独創性がある。その腸と肝における応答反応は複雑であると予想されるが、研究計画は、応募者のこれまでの世界的にも評価の高い分子栄養学的研究実績と洞察に裏付けられている。また、研究分担者として次世代を担う適任の若手研究者を他研究機関からも参加させるなど、研究体制の強化も図られ、十分な研究成果を上げることが期待される。生活習慣病予防と新たな機能性食品探索にもつながり、その成果は学術的のみならず、社会的にも波及効果が大きい。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p> <p>一部、経費の妥当性に懸念が示されたことから、必要となる研究経費を精査した上で、研究を推進することが望まれる。</p>